

九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ

「奥八女芸農プロジェクト」
アーティスト及びアート・コーディネーター募集要項

このたび九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボは、特定非営利活動法人山村塾と共同で「奥八女芸農プロジェクト」を福岡県八女市黒木町笠原地区にて実施します。現地に滞在して棚田の草刈りなどの農作業とともにアートワークを実施・製作・発表するアーティストと、アーティストをサポートするアート・コーディネーターを公募します。

地域とアートが関わる取り組みが、日本全国で行われるようになって久しくなりました。ですが、アートを通じて地域に実際にどのようなことがおこり、それにはどのような意味があるのか、と考える機会は、まだまだ不足しています。

九州大学ソーシャルアートラボではこのような地域とアートの問題について考えていくため、福岡県八女市黒木町笠原地区において、市民参加型のアートプロジェクトを実施してきました。福岡市内から大型バスで笠原地区を訪れる「アートバスツアー」を企画したり、公募で集まってきた参加者の方たちがアート・ワークショップを体験したりアートプロジェクトを構想したりする講座を行ったりしてきました。今回、これらのプロジェクトを発展させ、「奥八女芸農プロジェクト」を立ち上げます。

アートは地域に対しての単なる「道具」ではなく、何かを与えたり気づかせたりする「装置」であるはずで、奥八女芸農プロジェクトは、豊かな自然と災害後の復興などの課題を持つ笠原地区を舞台にして、アートと社会の関わり方について、実際に手を動かしながらじっくり考えるための、ささやかな実験です。

九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ 長津結一郎

平成 24 年九州北部豪雨により笠原地区は、道路や河川、家屋はもとより、棚田や茶畑にも甚大な被害を受けました。徐々に進んでいた担い手不足は災害により急速に進んだ印象があります。棚田や茶畑の風景は、米や茶を生産する場だけではなく、多くの生き物を育み、水や空気を守り、私たちの心を和ませてくれます。

今回の奥八女芸農ワークキャンプには、二つのことを期待します。一つは、自然に囲まれた農山村で暮らしながら、アーティストやボランティア、地域住民の交流を通じて、半農半アートのプロジェクトを試行すること。そのため、アーティストにはアート制作だけでなく、ボランティアとともに農作業や山仕事に汗を流してもらいながら、地域の一員として自らのアート事業を創造していただきたいと考えています。

もう一つは、アートの力によって、棚田や茶畑、森林の新しい魅力が見いだせないかということ期待しています。果たして棚田は米づくりだけの場所なのか？ ほかにその存在意義はないのだろうか？ 農林業関係の業界では、農業や林業の多面的な機能、つまりは生物多様性や水土保全などの公益的な機能をアピールしますが、それだけでは何だか寂しい。時間をかけてでも地域の暮らしや文化とつながるようなアート事業がこの地域で育まれることを期待しています。

今年は「芸×農×ワークキャンプ」に取り組む最初の一年です。今後に向けての第一歩となるような開拓精神のある方のご参加をお待ちしております。

特定非営利活動法人山村塾 事務局長 小森耕太

【アーティスト募集詳細】

目的	福岡県八女市黒木町笠原地区独自の歴史や自然など豊かな資源の魅力を活かしたアート作品の制作及び関連プログラム（下記「条件」参照）の実施
ジャンル	美術、音楽、パフォーマンス・アーツなど
滞在制作場所	福岡県八女市笠原東交流センター「えがおの森（福岡県八女市黒木町笠原9836-1）」及びその周辺
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年8月24日～9月20日に制作が可能なこと ・滞在中に現地住民向けのワークショップや成果発表などの企画実施ができること
制作費等	<ul style="list-style-type: none"> ・上限250,000円（謝礼を含む） ・自然素材など無償で提供可能なものあり
待遇	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航費：助成あり（遠距離地の場合は1往復分の旅費） ・宿泊：廃校を利用した宿泊施設（部屋は共用の予定）を無償で提供します。 ・食事：共同で自炊となります。食材などは提供します。 ・制作サポート：あり（要相談） ・活動記録集の作成・配布：なし（ただし、ソーシャルアトラポの他の実施事業とともにウェブサイトでも報告される予定）
採用人数	1名（予定）
応募書類	<p>以下2点（書式自由。CD-ROM、DVD-ROMなどの電子媒体も可）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実施するアートワークの提案書（関連するワークショップの提案もあると望ましい） 2. ポートフォリオ及び過去の実績

【アート・コーディネーター募集詳細】

目的	アーティストのサポートや業務のマネジメント（アーティストと地域や関係者をつなぐ活動を含む）
勤務場所	福岡県八女市笠原東交流センター「えがおの森（福岡県八女市黒木町笠原9836-1）」及びその周辺
条件	2018年8月24日～9月20日の期間中、20日以上現地に滞在し、活動が可能であること。
待遇	<ul style="list-style-type: none"> ・期間全体で110,000円以上（経験に応じて決定） ・交通費：規定により支給（遠距離地の場合は1往復分の旅費） ・宿泊：廃校を利用した宿泊施設（部屋は共用の予定）を無償で提供します。 ・食事：共同で自炊となります。食材などは提供します。
採用人数	1名（予定）
応募書類	<p>以下2点。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 履歴書（書式自由） 2. アート・コーディネーターを行ううえでの抱負（A4で1枚程度）

【提出締切】

2018年5月28日（月）必着

【提出物送付先】

〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1
九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ
奥八女芸農プロジェクト 宛

【問い合わせ先】

sal@design.kyushu-u.ac.jp

【審査について】

- ・一次審査の結果は6月初旬にお知らせします。
- ・審査結果に関する問い合わせには応じられません。
- ・提出物の返却はありません。

【参考資料】

◆九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボについて

ソーシャルアートラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、その研究・教育・実践・提言を通じて、新しい「生」の価値を提示していくことを目的として、2015年4月、九州大学大学院芸術工学研究院に設立されました。

ウェブサイト：<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/>

◆山村塾について

1994年に八女市黒木町笠原地区において、農家2軒と消費者側の家族の計3家族が呼びかけ人となって設立されました。週末になると農家のもとに多くの家族連れが集まり、一緒に農作業や山仕事を楽しんでいます。2008年からは廃校舎を活用した交流施設「えがおの森」を拠点に、10日間～80日間の合宿形式による環境保全ボランティア（国際ワークキャンプ）に取り組んでいます。山村塾では都市に住む人も農山村に住む人も含め、いろいろな国や地域、年代の人たちが一緒に汗を流すことで環境が守られていく社会を目指しています。

ウェブサイト：<http://sansonjuku.com>

◆八女市黒木町笠原地区について

山々に囲まれた谷あいに沿って美しい棚田や茶畑、そして集落の風景が続く農山村地域です。昔から農林業の盛んな地域で、特に茶生産は八女茶発祥600年の歴史を有し、高級茶の産地として知られています。およそ300世帯、人口1,000名弱の方々が暮らしていますが、5年前に小学校が統廃合で閉校するなど徐々に過疎高齢化が進んでいます。

◆これまでの活動

九州大学ソーシャルアートラボでは、「奥八女芸農プロジェクト」の取り組みにつながる以下のような活動を2015年より実施してきました。

- ・「奥八女芸農学校」（2017）

<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/okuyame.html>

<https://www.youtube.com/watch?v=KXkJUigcWGA>

- ・「アートバスツアー『里山を編む～天神・奥八女バスの旅』」（2016）

<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/bustour.html>

https://www.youtube.com/watch?v=73_cMwzzGks

◆その他

本事業は、平成30年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」における「社会包摂に資する共創的芸術活動のデザインと人材育成プログラムの構築」の一環として実施されます。